

2010年 秋の研修旅行

～晩秋の雲洞庵（直江兼続）から開山堂・清津峡へ～

スポット案内（写真は株元カイトウリストからの提供です）

雲洞庵 <http://www.untouan.com/>



NHK 大河ドラマ「天地人」の主人公直江兼続が幼少期に学問を学んだ地で、曹洞宗のお寺です。
昔から信仰の盛んな越後の国では、「雲洞庵の土踏んだか？・関興庵の味噌舐めたか？」という言葉があり、「諸国の修行者は、この二大禅道場で学ばなければ一人前の禅僧とは言えぬ。」と言われていたそうです。

また、赤門から本堂に続く参道の石畳の下に、法華経を一石一字ずつ印し、その経石を敷きつめたことから、この石畳を踏みしめてお参りすると功德を授かるとも言われています。

西福寺 開山堂 <http://www.5.et.tiki.ne.jp/~hirasawa/saihukuji.htm>



曹洞宗・赤城山西福寺の開山堂には、幕末の名匠 石川雲蝶の作品が多数遺っています。特に堂内の天井彫刻「道元禅師猛虎調伏の図」は圧巻で、襖絵やケヤキ一本彫の仁王像とともに新潟県の重要文化財に指定されています。

豪農の館「目黒邸」

<http://www.city.uonuma.niigata.jp/megurotei/>



寛政九年(1797年)建築の割元庄屋(大庄屋職)の役宅を兼ねた豪農屋敷。母屋は桁行十六間・梁間六間の茅葺、寄棟造。正面の表中門は懸魚(ゲギョ)のつく千鳥破風の屋根。冠木門や野面石の塀など中世武士の館を思わせる屋敷構えです。
国指定重要文化財

清津峡 <http://www.nakasato-21.com/kiyotsu2/>

黒部峡谷・吉野の大杉峡谷とともに三大溪谷の一つです。清津川が作り出す雄大・荘厳な溪谷で兩岸に迫る奇岩や柱状節理が見事です。
全長750mのトンネルは3か所の見晴所とパノラマステーションがあり、絶壁にそそり立つ柱状節理を間近に見ることができます。



屋食の「へぎ蕎麦」

「へぎそば」とは魚沼地方発祥の、つなぎに布海苔という海藻を使った蕎麦のことです。
へぎ(片木)と呼ばれる器に盛られるのですが、実は「へぎ」は「剥ぎ」から来ていて、剥ぎ板で作った折敷に盛られた蕎麦のことをいいます。一口ずつ手振りで丸めて「織りの目」のように並べられた美しい蕎麦をお昼に頂きましょう。



福利厚生委員会より 秋の研修旅行のお知らせ

～晩秋の雲洞庵（直江兼続）から開山堂・清津峡へ～

今回の研修旅行は、晩秋の新潟中越を中心に禅寺・豪農や豪壮雄大な溪谷美を堪能します。一日目は、「雲洞庵の土を踏んだか」という言葉で有名な越後一の禅寺と日本一の庵寺の見学。雲洞庵はNHK大河ドラマの主人公直江兼続が少年期に学問を学んだ地です。しおざわ牧之通りの街並みを観て、今宵の宿で旅の疲れを癒しましょう。

二日目は、越後三山の麓、雪と稲穂の里、魚沼の禅寺で、旧き匠が遺した幕末の巨匠、雲蝶の世界がよみがえる素晴らしい彫刻を鑑賞します。次に国指定重要文化財の豪農の館「目黒邸」を見学し、越後ゆきくら館で酒造見学。午後からは日本三大溪谷の一つ「清津峡」の溪谷の見晴所から雄大で壮麗な溪谷美を堪能しましょう。是非皆さんと一緒に訪れたいと思いますので、多数のご参加をお待ちしております。

【開催日】平成22年11月20日（土）～21日（日）

【集合出発】横浜駅西口天理ビル前 午前8時30分（時間厳守）

【参加費】25,000円 【定員】40名

【内 容】

- 1日目：横浜：→直江兼続ゆかりの寺雲洞庵→しおざわ牧之通→
越後湯沢温泉 いなもと（泊）
- 2日目：越後湯沢温泉→西福寺・開山堂→豪農の館目黒邸→
越後ゆきくら館(酒造見学)→清津峡（溪谷トンネル）（昼食）→
横浜 18:30 着予定

【申込方法】 会員番号（会員の方）・氏名・連絡先をご記入の上、
<http://www.kanagawa-kentikusikai.com/iinkai/kousei/mail/>
又は事務局 TEL(045-201-1284)、FAX(045-201-0784)
までお申込み下さい。会員以外の方は年齢も記入下さい。（保険用）

参 加 申 込 書 FAX (045-201-0784)

「晩秋の雲洞庵から開山堂・清津峡」研修旅行に参加申込みます。

* 定員になり次第締め切りますのでお早めに申込み下さい。

お名前（年齢） _____（ _____ 歳）

会員番号 _____

当日の連絡先 _____